

理事候補者(20名)

氏名	所属	抱負もしくは推薦文
阿部 なつ江	海洋研究開発機構	JpGUの更なる発展のためには、女性や若手理事を含めた多様な意見を束ねた執行部運営がとても大切である。阿部なつ江代議員は、ダイバーシティ推進委員会のメンバーとして日本地球惑星科学連合に貢献してきた実績から理事に推薦するものである。
市川 洋	無し	JpGUからの委員の一人として2015年12月以降現在まで、理数系学会教育問題連絡会でも活躍中です。物化生等との科学教育の連携を進めるためにもJpGU理事として活躍して頂きたい、ここに推薦します。
井出 哲	東京大学大学院理学系研究科	JpGUの健全な運営に貢献したいと思います
ウォリス サイモン	東京大学	私はJpGU・AGU・日本地質学会などの国際化推進を担当する委員会のメンバーと務めるなど学会の国際交流に関する経験があり、その経験を生かしてJpGUの国際化に貢献したい。
小口 千明	埼玉大学	地球科学分野の研究者育成および支援に関する問題、とくに任期付雇用、キャリア形成、介護、ワークライフバランス等について、国際的・分野横断的な組織などとも連携し、改善策を考えていきたいと思っています。
川幡 穂高	東京大学 大気海洋研究所	世界の一極を担える電子ジャーナルPEPSの確立、AGUとの共同開催も含めた年会の充実により、日本の地球惑星科学の世界への情報発信を促進し、この分野の新しいパラダイムに到達すべく努力したいと思います。
河宮 未知生	海洋研究開発機構	地球規模気候変化予測モデルの開発、応用を専門にしています。地球環境問題における地球惑星科学の貢献を社会に発信することを通じ、基礎・応用科学としての分野の発展とJpGUの国際化に尽力したいと考えています。
木村 学	東京海洋大学	来たる2年間は、2020に予定されているJpGU-AGUの第2回共同大会へ向けて改めてのホップ・ステップを計る時期です。これまでの経験を生かして微力ながらJpGUの発展に力を尽くしたいと思います
倉本 圭	北海道大学	研究教育ネットワークの形成を通じた地球惑星科学の展開に貢献したいと思います。
田近 英一	東京大学	21世紀における地球惑星科学分野の発展の方向性を見据え、学術的活動はもちろんのこと、次世代を担う人材の教育と育成、広報普及活動による社会的な理解と支持の向上、そしてJpGUの組織強化など、微力ながら尽力いたします。
中村 正人	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所	これまでの連合における経験を活かし、日本から生まれた国際組織としての地球惑星科学連合の発展に理事として尽くします。
中村 昭子	神戸大学	地球惑星科学分野の研究活動の拡がりや深化、それを担う次世代の活動の基盤の整備や維持のために微力ながら貢献できればと考えます。
成瀬 元	京都大学	連合の顕彰制度の確立と発展に貢献したいと考えています。専門分野の堆積学は固体地球と地球人間圏セクションの境界領域ですし、世代的にも若手とベテランの中間ですので、複数の意味で境界領域の橋渡しの存在となれるよう努力したいと思います。

西 弘嗣	東北大学学術資源研究 公開センター	これまで総務、教育の関連で連合の運営に関与してきました。今後もその運営において多くの困難な点が克服できるように地球惑星連合の発展のため全力を尽くしたいと思います。
浜野 洋三	無し	JpGUの事業はここ数年で大幅に拡大し、連合大会の参加者も急激に増加してきました。しかし、大会運営を中心とした事業を支える事務局体制の整備が遅れています。今期は、運営のための基盤体制を整備し、多くの大会参加者が満足できる、着実な安定したJpGUの実現のために働きたいと思いをします。
日比谷 紀之	東京大学大学院理学系 研究科	日本地球惑星科学連合の理事を務め、2016年連合大会委員長としてAGU Joint Session導入による国際化推進、大気水圏科学セクション参加者の飛躍的増加によるJpGU活性化に貢献した日比谷氏を理事に推薦します。
古村 孝志	東京大学 地震研究所	理事会活動を通して日本地球惑星科学連合の組織を一層強化し、国内関連学協会及び国際コミュニティとの連携の下、地球惑星科学の発展に貢献したい。
松本 淳	首都大学東京	現代の地球や地域の環境問題の解決のためには、人間圏を含めた地球の理解を進展させる必要があります。過去の理事やPEPSセクション編集委員長等での経験を踏まえ、連合のさらなる国際的発展に微力を尽くします。
道林 克禎	静岡大学	JpGUが日本の地球惑星科学分野を発展させる場として今まで以上に認知され、JpGU大会が研究・教育・産業の交流の場となるように広報や普及活動等に尽力していきます。
村山 泰啓	情報通信研究機構	連合での情報担当理事、グローバル戦略委員会の経験を生かし、現在の学術会議連携会員、ICSU-WDS国際委員など他の組織の役割も生かしながら、学術コミュニティの成長、発展に貢献できればと思います。

50音順

監事

加藤 照之	神奈川県温泉地学研究所
鈴木善和	プラタナス法律事務所
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授

50音順